

送

〔作〕ナガイヒデミ

〔演出〕兒玉庸策

〔補演出〕中島裕一郎

〔装置〕勝野英雄

〔照明〕前田照夫

〔衣裳〕松本昌子

〔効果〕岩田直行

〔舞台監督〕深川絵美

〔出演〕日色ともゑ

仙北谷和子

船坂博子

小杉勇二

塩田泰久



七〇年もたった気がせんよ。
いっつも兄さんと話しよった、胸の内。
山あいの集落にある一軒家、お盆の最後の日――



〔作〕ナガイヒデミ

〔演出〕兒玉庸策

〔補演出〕中島裕一郎

四国の山あいの集落。独り暮らしの吉沢照はここ数年、自分の身の振り方を考えてきた。身体的にも弱ってきているし、近くに親しい人はいるのだが他人の世話にはなりたくない。

戦争中、赤紙がきたその夜、照の兄は家族の誰にも言わず行方知れずに……。その後、保育園の先生になった照は、懸命にはたらき子供たちによく童話の読みかせをした。山あいに閉じこめられていた照は、どこかその国に行く夢をずうっとみていたのだろうか。

「アリスは不思議の国に。ハイジはアルプスの山を下りて町に。ウェンディはネバーランドに。ジヨバンニは銀河鉄道の旅に。」

照は長年暮らしてきたこの家を、今夜限りに去ることに決めたのだった……。

作者ナガイヒデミさんは静謐なたたずまいの中に凛とした世界観を描き出し二〇一二年『水の音』で「日本の劇」戯曲賞最優秀賞を受賞。二〇一七年上演の本作に続き、民藝では『白い花』（二〇二〇年）を上演。四国ことばの豊かな響きに彩られた幻想的でみずみずしい舞台にご期待ください。

長尾康太



小杉勇二

長尾泰子



仙北谷和子

吉沢光恵



船坂博子

吉沢照



日色ともゑ

吉沢圭介



塩田泰久